

日本地質学会第124年学術大会 (2017 愛媛大会) 講演プログラム (口頭)

■ 9月16日 (土) 午前

会場	第2会場 (グリーンホール)	第3会場 (共通講義棟 A21)	第4会場 (共通講義棟 A24)
	R13. 岩石・鉱物の変形と反応	R17. ジュラ系+	R25. 鉱物資源と地球物質循環
	座長: 1 高橋美紀, 2-4 大橋聖和, 5-7 濱田洋平, 8-10 上田匡将	座長: 1-4 近藤康生, 5-7 松岡 篤	座長: 1-5 藤永公一郎, 6-10 町田嗣樹
9:00	9:15 R13-O-1 (招待) ★ 地震学的手法による断層状態推定への挑戦. *内出崇彦	9:00 R17-O-1 パンサラサ海に堆積したアローロックス島の前期三畳紀層状チャート層における生物源シリカ相とそのフラックスの変遷. *相田吉昭・菊池那津子・草場研太・丸山 巧・山北 聡・竹村厚司・堀 利栄・高橋 聡・齋藤めぐみ・久保田好美・Bernhard Spörl・Hamish Campbell	9:30 R25-O-1 (招待) イオン吸着型鉱床: 気候の影響やレアアースの特異性. *高橋嘉夫・山口瑛子
	9:45 R13-O-2 Development of fault zones along the Median Tectonic Line, Mie Prefecture, south-west Japan: implication for weakening in the fault core. *竹下 徹・荒井 駿・ブイドンク・セートビッチ トーマス・山本貴史・安東淳一・重松紀生・藤本光一郎	9:15 R17-O-2 深海堆積岩中のコノドント化石の化学組成の評価. *松本廣直・高橋 聡・飯塚 毅・武藤 俊	10:00 R25-O-2 別子型鉱床を胚胎する三波川帯三縄層緑色片岩の形成場と付加年代. *中村謙太郎・大矢和孝・足立遼介・加藤泰浩・木村一成・西坂直樹・田村栄治・角井朝昭
	10:00 R13-O-3 Inferring rheology and architecture of crustal fault zones from outcrops requires careful consideration of non-steady state processes. *Virginia Toy・Toru Takeshita・Thomas Czertowicz・Steven B. Kidder	9:30 R17-O-3 愛媛県秩父累層状チャート中の三畳系-ジュラ系境界. *堀利栄・吉田夏子・黒田潤一郎・小川奈々子	10:15 R25-O-3 KR16-17航海で回収した黒鉱養殖装置のセンサーデータおよび沈殿物: 人工熱水孔の長期モニタリングと析出実験. *野崎達生・正木裕香・長瀬敏郎・鳥本淳司・齋藤誠史・高谷雄太郎・石橋純一郎・島田和彦・渡邊正之・横山貴大・秋山敬太・櫻井紀旭・猿橋具和・許 正憲・熊谷英憲・前田玲奈・高井 研
	10:15 R13-O-4 Weakening of mid-crustal shear zones: Insights from quartz c-axis fabrics in Median Tectonic Line mylonites. *Thomas Czertowicz・Toru Takeshita・Norio Shigematsu・Koichiro Fujimoto・Shun Arai	10:00 R17-O-4 第15回国際放散虫研究集会以議論するジュラ・白亜系境界問題. *松岡 篤	10:30 R25-O-4 黒海に堆積する黒色泥の地球化学的特徴. *矢野萌生・安川和孝・藤永公一郎・中村謙太郎・加藤泰浩
	10:30 R13-O-5 イタリアBalmucciaかんらん岩体に観察される、ほぼ同一温度環境下でのマイロナイト化とシュードタキライト形成. *上田匡将・清水以知子	10:15 R17-O-5 ジュラ系/白亜系境界GSSPの設定に向けて: 白亜系国際層序学委員会の動向と日本からの貢献. *長谷川卓	10:45 R25-O-5 南鳥島周辺の広域で観察されたマンガノジュール分布と音響後方散乱強度との関係~YK17-11C航海速報~. *町田嗣樹・安川和孝・飯島耕一・金子純二・大田隼一郎・藤永公一郎・石井輝秋・浅見慶志朗・堀之内航一・田中えりか・見邨和英・河原畑智朱・佐藤太一・中村謙太郎・加藤泰浩
	10:45 (休憩)	10:15 R17-O-6 白亜紀最前期のジュラ紀型汽水性二枚貝: 美良布層から産出したCrenotrapezium sp.の分類, 産状, および生息場所. *近藤康生	11:00 R25-O-6 レアアース泥研究の最新成果と南鳥島EEZにおける開発の実現に向けた取り組み. *加藤泰浩・中村謙太郎・藤永公一郎・安川和孝・高谷雄太郎・大田隼一郎・田中えりか・見邨和英・飯島耕一・町田嗣樹・野崎達生・木村純一・岩森 光
	11:00 R13-O-6 三軸圧縮試験ならびに急減圧急冷実験にみる超臨界条件下での花崗岩の物理特性. *北村真奈美・高橋美紀・高木健太・平野伸夫・土屋範芳	10:30 R17-O-7 (招待) 東アジアにおけるジュラ紀/白亜紀移行期の生物相および環境変動の解明に向けた手取層群研究の意義と展望. *佐野晋一	11:15 R25-O-7 統合的多変量解析に基づく南鳥島EEZ内の深海堆積物の地球化学データ解析. *安川和孝・中村謙太郎・藤永公一郎・岩森光・加藤泰浩
	11:15 R13-O-7 高温高圧・含水条件下における緑泥石の摩擦強度. *岡本あゆみ・André R. Niemeijer・Christopher J. Spiers・清水以知子	11:00 R16. 古生物	11:30 R25-O-8 北西太平洋深海堆積物の全岩化学組成に基づくレアアース泥の起源の解明. *山本克志・見邨和英・中村謙太郎・安川和孝・大田隼一郎・藤永公一郎・町田嗣樹・加藤泰浩
	11:30 R13-O-8 実験前後での微細組織の直接的な比較観察 ~ブルース石+アンチゴライト→かんらん石の脱水分解反応~. *永治方敏・岡本敦・木戸正紀・武藤潤・ウォリス サイモン・宇野正起・大柳良介	座長: 1-6 上松佐知子	11:45 R25-O-9 Box modelを用いた海洋のNd循環に基づくレアアース泥の成因の定量的制約. *河原畑智朱・安川和孝・田中えりか・中村謙太郎・藤永公一郎・加藤泰浩
	11:45 R13-O-9 含水かんらん岩に見られるDisGBSクリープの特徴的構造. *水上知行	11:00 R16-O-1 Hat Creek (British Columbia, Canada) 地域のMarble Canyon石灰岩中に見られるフズリナ類の多様性の変化について (予報). *太田泰弘・牧野帆乃香・佐野弘好	12:00 R25-O-10 日本列島付加体中のレアアース泥由来の構成岩の再検討. *藤永公一郎・中村謙太郎・高谷雄太郎・安川和孝・見邨和英・王子艦・加藤泰浩
	12:00 R13-O-10 (招待) ★ マイクローブーディン応力-歪解析: 現状と今後の方向性. *増田俊明	11:15 R16-O-2 南部北上帯ベルム系岩片崎石灰岩最上部の詳細岩相・炭素同位体層序. *飛田知世・磯崎行雄・田畑美幸・松井洋平・坂井三郎・西澤 学・吉田尚弘・奥村知世	
		11:30 R16-O-3 比重から見たアンモノイドの形態的多様性の制約. *生形貴男	
		11:45 R16-O-4 花粉層序に基づいた後期白亜紀足羽植物群の年代の再検討. *佐沢 豪・Julien Legrand・矢部 淳・指田勝男・上松佐知子	
		12:00 R16-O-5 福岡県宗像市の中期始新世直方層群大焼層の汎歯目コリフォドン科化石 (絶滅草食獣) について. *宮田和周・岡崎美彦・酒井治孝・富田幸光・大橋智之	
		12:15 R16-O-6 種子島の下部更新統増田層から産出する植物化石群集の再検討 - 琉球列島を通じた植物交流史の解明を目指して. *矢部 淳・藤木利之・鄭 恩境	

※講演番号は, シンポジウム (S), トピックセッション (T), レギュラーセッション (R) のそれぞれに, ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています.

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

※太字氏名: 代表発表者. ★印: ハイライト (本誌 p. (12) を参照). (招待): 招待講演. (エントリー): 優秀ポスター賞エントリー講演

日本地質学会第124年学術大会（2017愛媛大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月16日（土）午前

会場	第5会場（共通講義棟 A31）	第6会場（共通講義棟 A35）	第8会場（共通講義棟 A45）
	R12. 石油・石炭地質学と有機地球化学 座長：1-4 千代延俊，5-7 金子信行	R24. 原子力と地質科学 座長：1-5 吉田英一，6-10 渡部芳夫	T6. 極々表層堆積学：「堆積物」への記録プロセスの理解 座長：1-3 新井和乃，4-5 川村喜一郎，6-7 小栗一将
9:00	9:00 R12-O-1 前弧域のハイドレートのメタンは本当に微生物起源か？ * 金子信行	9:00 R24-O-1 土岐花崗岩の割れ目は過去の高温度流体の痕跡か？ * 野原 壯 ・ 土屋範芳	9:00 T6-O-1★ 生痕多様性に影響する露頭面積バイアスの補正方法：堆積環境変化に伴う生痕多様性変動の検討 * 菊地一輝 ・ 成瀬 元
	9:15 R12-O-2 日本海の表層型ガスハイドレートの胚胎域におけるガスの起源 * 柿崎喜宏 ・ シュナイダー グレン ・ 松本 良	9:15 R24-O-2 断層形成に伴う花崗岩基質中の空隙への影響に関する検討 * 石橋正祐 ・ 森川圭太 ・ 笹尾英嗣 ・ 湯口貴史	9:15 T6-O-2 ルール型格子モデルによる生物攪拌成層構造の形成 * 小川琴奈 ・ 成瀬 元
	9:30 R12-O-3 水理特性が海底下微生物活動に与える影響：IODP exp. 337下北八戸沖堆積盆地掘削コア試料を用いた考察 * 谷川 亘 ・ 多田井修	9:30 R24-O-3 双葉断層帯周辺の水理地質構造に関する検討 * 竹内真司 ・ 鈴木弘明 ・ 林 武司 ・ 藪崎志穂	9:30 T6-O-3★ 組み込みマイコンを用いた深海底の同時時系列観測 * 小栗一将 ・ 尾鼻浩一郎 ・ 藤江剛 ・ 三浦誠一 ・ 小平秀一 ・ 寺田育正 ・ 手塚高明
	9:45 R12-O-4 (招待) オイル生成段階後のCH ₄ , N ₂ , H ₂ の生成と挙動 * 鈴木徳行	9:45 R24-O-4 大飯発電所会場浜のコマチアイト質貫入岩体 * 石渡 明	9:45 T6-O-4 (招待)★ 海底への堆積物の供給と堆積・再移動・溶解 * 池原 研
	10:15 R12-O-5 中新世珪質岩根岩ポテンシャル再考～女川層タイトオイルの観点から * 横井 悟 ・ 栗田裕司	10:00 R24-O-5 (招待)★ 放射性廃棄物の地層処分で人工バリアに何を求めるか * 大江俊昭	10:15 T6-O-5 北海道沙流川における洪水時懸濁物鉱物組成の制御要因 * 入野智久 ・ 中田 聡史 ・ 池原 研 ・ 山下洋平 ・ 関 宰 ・ 長尾誠也
	10:30 R12-O-6 弘前市嶽地域の掘削コアから得られた中部中新統の石油根岩ポテンシャルに関する予察的研究 * 千代延俊 ・ 佐藤時幸 ・ 内海 実	10:30 R24-O-6 地下環境のバリア機能に関する知見と今後の課題～自然に学ぶ現象とその応用～ * 吉田英一	10:30 T6-O-6 (招待)★ 福島沿岸域堆積物における放射性セシウムの移行挙動 * 長尾誠也
	10:45 R12-O-7 北海道白亜系蝦夷層群函淵層に挟在する石炭層の有機物分析による堆積環境の復元 * 館下雄輝 ・ 沢田 健 ・ 安藤卓人 ・ 中村英人 ・ 林 圭一	10:45 R24-O-7 自然現象の影響評価手法の高度化に向けた情報整備 * 後藤淳一 ・ 近藤浩文	11:00 T6-O-7 深海底の極々表層堆積学 * 川村喜一郎
	R9. 堆積物（岩）の起源・組織・組成 座長：1-4 野田 篤	11:00 R24-O-8 地層処分に適した地質環境の選定およびモデル化～NUMOセーフティケースの構築～ * 太田久仁雄 ・ 近藤浩文 ・ 後藤淳一 ・ 三枝博光 ・ 國丸貴紀 ・ 山田彩織	
	11:15 R9-O-1 (招待)★ 碎屑物の粒子形状と定向配列の計測手法 * 宮田雄一郎	11:15 R24-O-9 山地の発達過程を把握するための後背地解析技術 * 丹羽正和 ・ 清水麻由子 ・ 安江健一 ・ 西村周作 ・ 雨宮浩樹 ・ 植木忠正 ・ 堀内泰治	
	11:45 R9-O-2 楕円フーリエ-主成分分析による、粒子の形状と円摩度の同時測定 * 太田 亨 ・ 鈴木慶太	11:30 R24-O-10 (招待)★ 高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する「科学的特性マップ」について * 小林大和	
	12:00 R9-O-3 巨大球状炭酸塩質コンクリーションの形成深度と速度 * 村宮悠介 ・ 吉田英一		
	12:15 R9-O-4 IODP Exp. 354で採集されたベンガルファン中新統に含まれる碎屑性ザクロ石の化学組成とその時代変化 * 吉田孝紀 ・ 大崎 愛 ・ 葉田野希 ・ 酒井治孝		

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p. (12) を参照）。（招待）：招待講演。（エントリー）：優秀ポスター賞エントリー講演